

ベビーカー利用ルールづくりにあたって検討すべき事項(たたき台)

資料5(別紙)

	ベビーカー使用者	周囲の利用者	交通事業者・施設設置管理者	ベビーカーメーカー
○公共交通機関、公共施設等全般(鉄道駅等を含む)				
①全般				
	ベビーカーで公共交通機関や公共施設等を利用する場合には、大型のものや重くてとりまわしが困難なタイプのベビーカーは、選ばないようにしましょう。また、ベビーカーに子どもを乗せて利用することができない場合も考慮し、だっこひもやおんぶひもも持ち歩きましょう。【競合、理解】		ベビーカー利用の障害となる段差の解消、通路幅の確保等【安全性】 ベビーカー利用にふさわしくない施設等へのマーク等の表示【安全性】 ベビーカー利用が優先される施設、スペース(トイレ、待合室等)等へのマーク等の表示【競合】	
	混んでいるときにはベビーカーの車輪が周囲のお客さんに衝突することのないように気をつけましょう。【安全性、競合】			
	子どもはじっとしているのが苦手です。お気に入りのおもちゃの利用や上手な声かけをするなど、周りの迷惑にならないよう努力しましょう。【理解】	子どもはじっとしていられないものです。どうか暖かい目で見守ってください。【理解】	ベビーカー利用者に対する注意事項やマナー、非利用者に対するベビーカー利用への配慮の呼びかけ、啓発【安全性、理解】	ベビーカー利用者に対する注意事項やマナーの呼びかけ、啓発【安全性、理解】
	話に夢中になったり、携帯電話等に気をとられたりして、子どもから目を離さないように、周囲への気配りをこころがけましょう。【安全性、理解】	赤ちゃんの安全が確保できるよう、暖かい気持ちで、できるだけ配慮をしてください。【安全性、理解】	ベビーカー利用者や周囲の利用者への配慮に係る職員への教育訓練【安全性、競合、理解】	
②エレベーター				
	エレベーターは車椅子利用その他の障害のある方や高齢の方が優先です。周囲への気配りを忘れずに利用しましょう。【競合、理解】	エレベーターは、車椅子利用その他の障害のある方や高齢の方が最優先、ベビーカー利用の方も優先です。混雑しているとき、これらに該当しない方は、できるだけ利用を控えましょう。【競合、理解】	エレベーターでの優先利用の取り扱い【競合】	
	混雑しているときは無理に乗りこまず次の機会を待つなど、ゆとりを持って行動しましょう。【安全性、競合、理解】			
	エレベーターの扉に届く位置に子どもやベビーカーを近づけないようにしましょう。【安全性】			
③エスカレーター				
	ベビーカーに子どもを乗せたままエスカレーターに乗ることは絶対にやめましょう。【安全性】		エスカレーター使用禁止措置(ポール等の設置)の徹底【安全性】	
④階段				
	ベビーカーに子どもを乗せたまま、ベビーカーを抱えて階段を昇り降りするのは、やめましょう。【安全性】	階段や段差で、ベビーカー利用に困っている方を見かけたとき、余裕があれば、手助けをしましょう。赤ちゃんは保護者の方に委ね、手助けは、ベビーカーや荷物を運ぶことに留めましょう。【安全性】		
○鉄道				

	ベビーカー使用者	周囲の利用者	交通事業者・施設設置管理者	ベビーカーメーカー
①全般				
	<p>電車に乗るときには時間に余裕を持って出かけましょう。やむを得ない場合以外は混んでいる時間帯を極力避けることも必要です。【安全性、競合、理解】</p> <p>ベビーカーで電車を利用する場合には、大型のものやたたむのが困難なタイプのベビーカーは、選ばないようにしましょう。また、いつもたたまずに使用している電車でも、たたむ必要があるかもしれません。だっこひもやおんぶひもも持ち歩きましょう。【競合、理解】</p> <p>新幹線、特急列車等、車両の構造によっては、ベビーカーを開いたまま乗車できない場合があります。こうした列車では、必要に応じてベビーカーをたたみ、周囲の乗客や車内の通行に支障のないよう心がけましょう。【競合、理解】</p>			<p>公共交通移動に適したベビーカーの開発の検討及び普及方策の検討【安全性、理解】</p>
②切符購入・改札口				
	<p>切符等を購入する際は、財布や券売機操作、窓口対応中も、ベビーカーや子どもに目が届くようにしましょう。【安全性】</p> <p>ベビーカーで改札口を通る場合には、幅が広めな改札口を使用しましょう。【安全性】</p> <p>自動改札を通る際は、誤ってゲートが開かなかつたり、早めに閉まってしまったりすることがあります。子どもの顔や妊娠中の場合はお腹が当たらないように気を付けましょう。【安全性】</p>			
③ホーム				
	<p>駅のホームは見た目には分かりにくいですが、水はけのため傾斜があります。ベビーカーを停めているときは線路と平行に置き、ストッパーをかけて手を離さないようにしましょう。【安全性】</p>			
④乗降時				
	<p>急いでいても駆け込み乗車はやめましょう。乗降時は降りる人が優先です。心と時間にゆとりを持って行動しましょう。【安全性、競合、理解】</p> <p>乗降時に、電車とホームの間にベビーカーの車輪や子どもが落ちないように十分気を付けましょう。【安全性】</p>			<p>鉄道車両の戸閉め時にベビーカーの脚部挟み込みを検知する戸あたりゴム改良の順次拡大【安全性】</p>
⑤車内(安全性)				
	<p>ベビーカーに子どもを乗せたまま電車に乗車することができますが、あくまでも安全を確保するのは保護者の責任です。【安全性】</p>			

	ベビーカー使用者	周囲の利用者	交通事業者・施設設置管理者	ベビーカーメーカー
	<p>車内では、他の乗客の通行に配慮したうえで、できるだけベビーカーを進行方向に向かって直角（横向き）に置きましょう。進行方向に置くと、急発車・停車などで動きやすくなります。【安全性】</p> <p>車内でも手を離さないこと。子どもにかけるとベルトとストッパーも忘れずに。【安全性】</p>			
⑥車内（スペース）				
	<p>車椅子マーク、ベビーカーマークが表示されている場所があれば、そこに乗車しましょう。車椅子使用者が乗車してきたらゆずりましょう。【競合】</p> <p>車椅子マーク、ベビーカーマークが表示されていないとき、また、その場所にベビーカーが置けないときには、なるべく乗降や人の動きのない場所に、人が通れるかどうか注意して乗車しましょう。【競合、理解】</p> <p>ベビーカーは他の乗客の邪魔にならないよう配慮し、車内が混んできたときは、可能であればたたみましよう。【競合、理解】</p>		<p>ベビーカー優先車両、スペース等の確保【競合】</p> <p>現行の優先スペース利用者の理解を得た上での、ベビーカー利用が優先される車両、スペース等へのマークの表示【競合】</p>	
〇バス				
①全般				
	<p>ベビーカーに子どもを乗せたまま乗車できるバス会社が多くなっていますが、よく利用するバス会社について事前に取扱いを調べておきましょう。【安全性、競合、理解】</p> <p>ベビーカーでバスを利用する場合には、大型のものやたためないタイプのベビーカーは、選ばないようにしましょう。また、いつもたたまずに使用しているバスでも、たたむことがあるかもしれません。だっこひもやおんぶひもも持ち歩きましょう。【競合、理解】</p> <p>長距離、高速、観光タイプ等、車両の構造によっては、ベビーカーを開いたまま乗車できない場合があります。こうしたバスでは、必要に応じてベビーカーをたたみ、トランクに収納してもらう等、周囲の乗客や車内の通行に支障のないよう心がけましょう。【競合、理解】</p>			<p>公共交通移動に適したベビーカーの開発の検討及び普及方策の検討【安全性、理解】</p>
②乗降時				
	<p>ベビーカーに子どもを乗せたまま乗車したり、子連れで荷物が多い場合など、前扉からでなく後扉からの乗降を運転手に頼んでみましょう。段差などのため乗降が難しい場合も、必要ときは、運転手や周囲の人に手助けをお願いしましょう。【安全性、理解】</p>	<p>乗降や支払いに時間がかかる時も。どうか暖かい気持ちで、少し待ってあげてください。可能であれば、乗降の手助けもお願いします。【理解】</p>		

	ベビーカー使用者	周囲の利用者	交通事業者・施設設置管理者	ベビーカーメーカー
	一般の乗客とは異なる昇降口を利用する場合には、運賃の支払いや整理券の授受ができないことがあります。子どもが乗っているベビーカーから離れるときは必ずベビーカーを固定具で固定して、発車前又は停車後に対応しましょう。【安全性】			
③車内(安全性)				
	ベビーカーでの乗車が可能な場合には、ベビーカーは固定できるように座席にベルトがついています。バス会社のルールに従って、基本的に自分で固定しますが、留め方がわからない時は運転手に確認しましょう。ベルトで止めているときでもベビーカーのベルトとストッパーは忘れずに！！【安全性】		メーカーと連携した安全な固定方法等の検証【安全性】	交通事業者と連携した安全な固定方法の検証【安全性】
	特に指定がなければベビーカーは進行方向に向かって後ろ向きに置きます。バス会社のルールの表示があれば、それに従いましょう。【安全性】		ベビーカー利用方法等の明示、マークの表示【安全性、競合】	
④車内(スペース)				
	子どもをベビーカーに乗せたままのバス利用はルールを守り、必要に応じてすぐにベビーカーをたためる準備をしておきましょう。【競合、理解】			
	車椅子使用者の乗車があるときは、車椅子使用者が優先です。必要があれば、ベビーカーはたたむようにしましょう。【競合、理解】			
	車内が混雑しているときは、ベビーカーの使用が許されているバスでも、できるだけベビーカーをたたみましょう。【競合、理解】			